

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

国際連合の意義

能登半島地震から2年

高市首相の「台湾発言」どう考える

6、7面

3面

10、11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsins@dylj.or.jp

ベネズエラ侵略



▶「米国のベネズエラ侵略に日本は抗議してほしい」と話す青年（写真左、9日渋谷）

日本政府は米国の無法を許すな

「米国は国際法違反」との声

トランプ米政権は3日、南米ベネズエラの首都カラカスで大規模攻撃を行い、マドゥロ大統領とその妻を拘束し、米国に連行しました。世界中に衝撃が走った米国のこの無法行為について、1面では街頭の青年に受け止めを聞くとともに、2面ではベネズエラ侵略の背景などについて見ていきます。（塩田悠玄(記者)

渋谷の街頭で9日と12日に青年に取材を行いました。状況として、大統領が独裁的に青年に取材を行っていたことを聞いていた。ベネズエラの国境からしたら、その独裁がなくなるのは希望になることもあると思う。いい悪いもどっちもあるのかな」と率直に話します。しかし、「世界全体で見ればアメリカの脅威をすごく怖いと感じる事態だと思う。そのことによって他の国も

「もっと軍事を増強しないといけない」となってしまうのが怖い」と不安も語りました。ある大学生(3年)は、「麻薬組織とベネズエラのつながりがあっていいたと断に迷いながらも、今回のような米国による侵略行為や植民地化は「国際法違反」「怖い」という意見が相次ぎました。

青年の多くが葛藤

街頭取材では、「今回の米国のベネズエラに対する行動は、国際法違反だしおかしいと思うが、日本政府がそのことを非難するのは難しいのではないか」という受け止めが比較的多くありました。しかしながら、本当は平和を望むからこそ、日本と世界の平和における日本の責任とのほさまで「本当にそれではないのか」と葛藤している青年がほとんどでした。同時に、今回の取材でも、全国の民青同盟の宣伝でも「日本政府には米国の無法に抗議してほしい」と話す青年に出会っています。「アメリカいいなり」の政治から脱却して世界の平和的秩序を構築する展望が、青年からますます求められていることが浮き彫りになっていま

求められる「アメリカいいなり」からの脱却

ある高校生(2年)は、米国のベネズエラ侵略をニュースで見て、「国際法の面から見て、大統領が連れ去られるってかなりやばいこと」と話します。一方で、「ベネズエラの国内状

況として、大統領が独裁的に青年に取材を行っていたことを聞いていた。ベネズエラの国境からしたら、その独裁がなくなるのは希望になることもあると思う。いい悪いもどっちもあるのかな」と率直に話します。しかし、「世界全体で見ればアメリカの脅威をすごく怖いと感じる事態だと思う。そのことによって他の国も

行為を非難していない状況があることをどう思うか聞くと、「日本はアメリカに何かを言わない国っていう印象があるけど、今回は他の国のように(非難を)してほしい。アメリカが全部を支配するような世界には、やっぱりしっちゃんいけな」と話します。一方、日本は米国を非難するべきかどうかを聞くと、「中国との関係悪化がある」とが浮き彫りになっていま

中、日本政府は米国の無法行為を非難している。一方で、米国との関係の中で、アメリカを敵に回す

